

### Ⅲ 健康増進課

#### 1 健康づくり推進事業

##### (1) 「健康津軽21（第2次）」の推進

管内の早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、住民主体の健康づくりを進めていく計画として平成13年度に「健康津軽21」を策定した。その後中間報告と見直しを経て、平成24年度に最終評価し、それを踏まえて平成25年度を初年度とする「健康津軽21（第2次）」を策定した。策定内容は、健康津軽21に引続き「肥満予防対策」、「喫煙防止対策」、「自殺予防対策」を重点課題として、以下3領域、12分野について取り組み、「管内市町村健康増進計画（第2次）」と連動させながら推進を図ってきた。

###### ① 「生活習慣の改善」の領域

栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒、喫煙、歯の健康の5分野

###### ② 「生活習慣病の発生予防と重症化予防」の領域

がん、循環器疾患、糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の4分野

###### ③ 「こころの健康」の領域

こころの健康、認知症、休養（睡眠）の3分野

平成29年度に中間評価を行い、その結果、改善がみられた指標の割合は全体の55.7%となっており、分野別では、改善の割合が高いのは「飲酒」「歯の健康」「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」「喫煙」「認知症」「循環器疾患」「糖尿病」であったが、悪化の割合が高い分野は「休養（睡眠）」「身体活動・運動」「がん」であった。

中間評価を踏まえ、上記の重点課題3領域に加え、新たに「がん対策」を重点の取組に加え、引き続き推進を図っている。

##### (2) 津軽地域 地域・職域保健連携推進事業

当圏域は、働き盛りの人たちの健康課題の解決が喫緊となっていることから、市町村や保健所等で実施している保健サービスと、職域で実施している保健事業について相互の連携を密にし、健康津軽21（第2次）計画における重点的な取組である生活習慣病の予防やメンタルヘルス対策について、効果的な保健事業を推進するものである。

###### ア 津軽地域 地域・職域保健連携推進協議会

津軽地域保健医療推進協議会保健対策部会において、下記のとおり開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、中止した。

○開催日時：令和2年11月11日（水）15：00～16：30

○開催場所：ラグリー

○内 容：① 報告事項「健康津軽21（第2次）の推進について」

② 協議事項「喫煙防止対策について」

③ 協議事項「がん対策について」

### (3) 喫煙対策事業

「健康津軽21（第2次）」の今後の目指すべき姿と取り組みをもとに、喫煙による健康障害に対する知識の普及啓発及び受動喫煙防止対策の推進を図る。

#### ア 研修会・機会教育等実施状況

例年市町村で開催している研修会等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、実施無し

#### イ 空気クリーン施設・車の認証拡大

##### (ア) 空気クリーン施設の認証状況の把握・情報提供

- ・管内市町村における空気クリーン施設・車の認証状況を把握し、各市町村へ情報提供を行った。

##### (イ) 喫煙の健康被害に関する知識の普及・啓発、空気クリーン施設のPR

- ・食品衛生協会の協力のもと食品衛生講習会の際に、空気クリーン施設認証制度のリーフレットを飲食店へ203部配布。

空気クリーン施設の現地調査の際、空気クリーン車のPRを実施。

新規認証数：39件（空気クリーン施設：38施設 空気クリーン車：1台）

累計1,081件

#### ウ 調査の集計・分析等

##### <市町村の喫煙対策自己点検調査>

- ・調査結果を分析し、経年変化が分かるように資料としてまとめ、管内市町村へデータを還元した。

##### <妊婦喫煙状況の調査>

- ・妊婦連絡票から、妊産婦の喫煙状況を収集・分析し、保健活動打ち合わせ時に市町村に対して妊婦喫煙率を情報提供した。

#### エ 改正健康増進法の施行に伴う受動喫煙対策

健康増進法の一部が改正され、令和2年4月1日から建物内が原則禁煙となったことに伴う周知活動や既存特定飲食提供施設からの届出受理を行った。

##### (ア) 「食品衛生責任者講習会」を活用した周知活動

弘前地区 3回実施 参加者 合計160人

南黒地区 1回実施 参加者 43人

##### (イ) 既存特定飲食提供施設の届出数

令和2年度 届出数 173件（合計 203件）

### (4) 中南地域がん検診受診率向上推進事業

中南地域はがんによる死亡率、特に、壮年期の死亡率が高く、また、二次医療圏の標準化死亡比の全国比較でみると、男性がワースト1、女性がワースト5であることから、がんの早期発見・早期治療のため、住民と職域関係者のがん検診受診率向上を図る。

#### ア 事業所職員及び農業従事者へのがん検診受診勧奨

がん検診受診の動機づけを行うため、リーフレットを作成し、関係機関と連携して周知を図った。

機関名	配付機会	配付部数
労働基準監督署	業務管理・安全衛生の説明会や会合(事業主・労務責任者・安全衛生責任者等対象)	240
労働基準協会	会員への通知、安全衛生推進者養成講習	650
弘前商工会議所	会報への折込、事業所訪問等	2,623
中南農林水産部	農家対象の講習会・座談会	264
計		3,777

イ 空気クリーン施設認証事業所へのがん検診受診勧奨

空気クリーン施設認証ステッカー送付時に、リーフレットを同封し、がん検診の周知を図った(22事業所、計658部)。

(5) 特定健診・レセプトデータに関わる集計・分析(旧「市町村等「健活」推進のための地域診断事業」)

がん・生活習慣病対策課が配布する地域診断ツールを活用し、平成30年度分レセプトデータを取りまとめ、がん・生活習慣病対策課に提出。

## (6) 市町村健康づくり活動への支援

### ア 市町村健康づくり推進協議会等への参加

市町村	協議会名	委員	委嘱期間	開催月日	出席者	内 容
弘前市	弘前市健康づくり審議会	所長	R2. 7. 25 ～R4. 7. 24	R2. 7. 31	石山所長 瀬川主査	① 弘前市健康づくり推進審議会の概要について ② 審議会の今後のスケジュールについて
黒石市	黒石市健康づくり推進協議会	所長	R元. 7. 1 ～R3. 6. 30	R2. 7. 29	石山所長 工藤主任 専門員	① R元年度事業実績について ② R2年度事業計画について ③ いのち支える黒石市自殺対策行動計画の進捗状況について
平川市	平川市健康づくり推進協議会	所長	R2. 10. 28 ～R3. 9. 30	R2. 10. 28	石山所長 澤田技師	中止
				R3. 3. 25	石山所長 澤田技師	① 平川市における自殺死亡率の推移及び自殺対策事業について ② 第2期保健事業計画・第3期特定健診等実施計画の中間評価について
西目屋村	西目屋村健康づくり推進協議会	—	—	—	—	※実施なし
藤崎町	藤崎町健康づくり推進協議会	所長	R2. 8. 1 ～R4. 7. 31	R2. 8. 21	石山所長 富岡技師	① R元年度藤崎町保健活動実績及びR2年度保健活動計画について ② 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について
大鰐町	大鰐町健康づくり推進協議会	所長	R2. 6. 11 ～R2. 9. 30	R2. 6月		中止
				R2. 10. 8	石山所長 三上専門員 野坂技師	① R元年度保健事業概要について ② R2年度上半期実績報告及び下半期事業計画について ③ 新型コロナウイルス感染症について情報提供
				R3. 3. 18	石山所長 野坂技師	①大鰐町自殺対策計画の進捗状況について ②その他
田舎館村	田舎館村健康づくり推進協議会	所長	R3. 3. 1 ～R5. 2. 28	R3. 3. 22	石山所長 三上主査	①第2期田舎館村保健事業実施計画中間評価について ②村の健康状況と課題について
板柳町	板柳町健康づくり推進協議会	所長	R2. 4. 1 ～R3. 4. 30	R3. 3. 29	石山所長 山谷技師	①「板柳町いのちを支える自殺対策計画」進捗状況 ②「第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」の中間評価 ③板柳町保健計画「健康いたやなぎ21(第2次)」の進捗状況 ④高齢者の保険事業と介護予防の一体化実施事業の進捗状況

## 2 母子保健事業

### (1) 妊産婦支援体制整備事業

虐待の発生予防として、育児の孤立化、育児不安の軽減に努め、母子保健の側面から地域養育支援体制を整備することを目的とする。

#### ア 産後うつ病の予防対策推進事業

市町村及び医療機関に対し、エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）の普及を図り、併せて医師、児童相談所、市町村の児童福祉・母子保健関係者等関係機関との検討会を開催し、産後の抑うつ状態の早期発見を推進することを目的とする。

#### (ア) EPDSの市町村・医療機関への普及推進会議（母子保健ネットワーク会議と併催）

令和元年度版として更新した「ハイリスク妊産婦、未熟児等の連絡窓口担当者名簿」を市町村及び医療機関へ配付し、産後うつ病の予防や早期発見のための活用について、働きかけた。

#### (イ) ケース検討会議（要保護児童対策地域協議会）

検討ケース無し

#### イ 母子保健ネットワーク会議

安全な妊娠、出産、子育てができる地域づくりのために、医療と保健で連携した支援を行う必要があることから、母子保健に係る市町村、医療機関の関係者が課題を共有し、検討する機会とする。

※新型コロナウイルスの影響により中止

### (2) 女性健康支援事業

#### ア 女性健康相談事業

女性はその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう、気軽に相談できる体制を確立することにより、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図る。

- ・相談件数：電話相談2件
- ・相談内容：更年期障害に関する相談

#### イ 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1回の治療費が高額でありその経済的負担が重いことから、治療費の一部を助成し経済的負担の軽減を図る。

- ・治療費助成承認件数：213件

### (3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性特定疾病児童等に対して、適切な療育を確保するために、その疾病の状態及び療育の状況を随時把握すると共に、その状況に応じた適切な指導を行い、日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る。

#### ア 小児慢性特定疾病医療受給者証交付と指導指示の状況 (人)

番号	疾病区分	交付数	医療意見書中指導指示有の 件数
01	悪性新生物	35	0
02	慢性腎疾患	17	0
03	慢性呼吸器疾患	14	0
04	慢性心疾患	62	0
05	内分泌疾患	61	0
06	膠原病	13	0
07	糖尿病	21	0
08	先天性代謝異常	7	0
09	血液疾患	10	0
10	免疫疾患	1	0
11	神経・筋疾患	22	0
12	慢性消化器疾患	28	0
13	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	67	0
14	皮膚疾患	2	0
15	骨系統疾患	5	0
16	脈管系疾患	2	0
合計		307	0

(令和2年度弘前保健所小児慢性特定疾病医療受給者証交付件数及び療育指導件数)

#### イ 療育指導

(ア) 所内相談 ①新規交付時面接相談：23件 ②随時相談：4件 ③電話相談：  
20件

(イ) 訪問指導 1件

(4) 小児慢性特定疾病医療受給者証交付状況

治療が極めて困難で長期にわたる小児の特定疾患についての治療研究を推進し、その医療の確保と普及を図るとともに、患者家族の医療費の負担軽減を図るため、当該小児に対し小児慢性特定疾病医療受給者証を交付している。

(人)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患	
弘前市	15	9	11	45	39	6	10	6	7	0	14	16	3	2	4	1	188
黒石市	5	1	2	4	9	1	5	1	2	0	2	4	2	0	0	0	38
平川市	5	3	0	6	7	3	4	0	0	1	4	2	2	0	1	0	38
西目屋村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
藤崎町	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	8
大鱈町	6	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	13
田舎館村	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5
板柳町	2	2	1	3	3	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	15
合計	35	17	14	62	61	13	21	7	10	1	22	28	7	2	5	1	307

(令和2年度弘前保健所小児慢性特定疾病医療受給者証交付件数)

(5) 小児慢性特定疾病児童手帳（ひまわり手帳）交付事業

小児慢性特定疾病医療費助成制度の公費負担を受けている児童に対し、本人の健康状態の記録・かかりつけ医療機関の連絡先等を記入できる手帳を交付し、患児の福祉の増進に寄与している。

(人)

疾患群 元年度	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患	
件数	5	0	1	5	9	1	2	0	0	0	5	3	1	0	0	1	33

(令和2年度弘前保健所小児慢性特定疾病医療受給者証交付件数)

## (6) 先天性代謝異常等検査

フェニールケトン尿症等の先天性代謝異常、先天性甲状腺機能低下及び先天性副腎過形成症は、放置すると知的障害等の心身障害をきたすため、新生児期に血液によるマス・スクリーニング検査を行い、異常を早期に発見することにより、後の治療とあいまって障害の発現を防止することを目的に実施している。

令和2年度要精検者のうち、保健所から保護者への受診勧奨が必要なケースはなく、年度内に報告を受理した要精検者については、1ヶ月以内に精密検査を受診していた。

(弘前市：2件、藤崎町：2件／全4件)

## (7) 妊婦連絡票等実施状況

安全な妊娠、出産環境を構築し、子どもの健全な育成に資するため、医療と保健の連携体制の一層の充実強化を図ることにより、妊娠初期から産褥期まで、妊産婦及びその家族に対し一貫した支援を行うことを目的として、妊産婦情報共有システムが構築されている。

市町村別	妊娠届出数 (A)	妊婦連絡票提出数 (B) (B ÷ A)	妊婦保健指導報告書 発行数 (C) (C ÷ B)	指導方法 合計	窓口 指導	訪問 指導	電話 指導	その他	要連絡・指導妊産婦 連絡票受理数 (D)	妊産婦保健指導結果 連絡票発行数 (E) (E ÷ D)	妊婦連絡票の提出はないが、 保健指導した数 (F) (F ÷ A)
弘前市	1,011	1,009 99.8%	1,009 100.0%	1,009	997	1	11	0	90	74 82.2%	4 0.04%
黒石市	169	168 99.4%	168 100.0%	168	168	0	0	0	19	18 94.7%	2 1.2%
平川市	159	159 100.0%	159 100.0%	159	159	0	0	0	14	13 92.9%	13 8.2%
西目屋村	5	5 100.0%	5 100.0%	5	5	0	0	0	1	1 100.0%	0 0.0%
藤崎町	88	88 100.0%	88 100.0%	88	82	0	6	0	12	9 75.0%	0 0.0%
大鰐町	30	30 100.0%	30 100.0%	30	27	0	3	0	2	1 50.0%	0 0.0%
田舎館村	40	40 100.0%	40 100.0%	40	36	0	4	0	7	7 100.0%	0 0.0%
板柳町	60	60 100.0%	60 100.0%	60	59	0	1	0	11	9 81.8%	0 0.0%
計	1,562	1,559 99.8%	1,559 100.0%	1,559	1,533	1	25	0	146	132 90.4%	19 1.2%

(令和2年度妊産婦情報共有システム実施状況報告より)

### (8) 未熟児等訪問指導状況

未熟児は、その未熟児性から疾病にもかかりやすく、心身の障害を残すことがあり、未熟児を養育する保護者の不安等も強いことから、未熟児等訪問指導を通じて養育支援を適切に進めるために関係機関との情報共有、連携体制の構築を図る。

市町村名	低出生体重児数	(再掲)未熟児養育医療申請数	未熟児等出生連絡票受理数	在胎週数別出生時体重															未熟児等訪問指導連絡票発行数
				～34週未満					妊娠34～37週未満					妊娠37週以上					
				1,000g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	1,000g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	1,000g未満	1,000～1,500g未満	1,500～2,000g未満	2,000～2,500g未満	2,500g以上	
弘前市	100	32	59	4	6	7	1	0	0	0	0	14	5	0	0	1	12	9	54
黒石市	8	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
平川市	17	4	10	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	2	2	9
西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤崎町	6	5	4	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	4
大鰐町	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
田舎館村	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	3
板柳町	6	1	4	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	5
計	141	46	87	5	8	8	1	0	0	2	3	21	6	0	0	2	17	14	81

(令和2年度未熟児情報システム実施状況報告より)

### (9) 令和2年度1歳6か月児健康診査実施状況

#### ア 一般健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘前市	865	800	92.5
黒石市	219	196	89.5
平川市	199	196	98.5
西目屋村	6	6	100.0
藤崎町	134	134	100.0
大鰐町	31	27	87.1
田舎館村	39	37	94.9
板柳町	69	68	98.6
管内計	1,562	1,464	93.7

\*受診率が管内平均より低い市町村は、弘前市、黒石市、大鰐町である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりのむし歯本数
弘前市	865	800	30	0.04
黒石市	219	196	0	0.00
平川市	199	196	2	0.01
西目屋村	6	6	0	0.00
藤崎町	134	134	7	0.05
大鰐町	31	27	0	0.00
田舎館村	39	37	0	0.00
板柳町	69	68	1	0.01
管内計	1,562	1,464	40	0.03

\*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、弘前市、藤崎町である。

(10) 令和2年度3歳児健康診査実施状況

ア 一般健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘前市	942	922	97.9
黒石市	220	208	94.5
平川市	197	195	99.0
西目屋村	11	11	100.0
藤崎町	125	125	100.0
大鰐町	46	46	100.0
田舎館村	61	61	100.0
板柳町	80	80	100.0
管内計	1,682	1,648	98.0

\*受診率が管内平均より低い市町村は、弘前市、黒石市である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりのむし歯本数
弘前市	942	922	671	0.73
黒石市	220	208	120	0.58
平川市	197	195	133	0.68
西目屋村	11	11	2	0.18
藤崎町	125	125	119	0.95
大鰐町	46	46	58	1.26
田舎館村	61	61	66	1.08
板柳町	80	80	33	0.76
管内計	1,870	1,648	1,202	0.73

\*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、藤崎町、大鰐町、田舎館村である。

### 3 健康増進事業

#### (1) 各種検診等実施状況

ア 歯周疾患検診 (令和元年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	920	719	112	89
黒石市	151	61	77	13
平川市	124	50	64	10
西目屋村	1	0	1	0
藤崎町	69	25	35	9
大鰐町	17	9	6	2
田舎館村	47	31	13	3
板柳町	7	1	1	5
管内計	1,336	896	309	131

イ 骨粗鬆症検診 (令和元年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	553	32	158	363
黒石市	95	20	21	54
平川市	359	45	85	229
西目屋村	20	2	9	9
藤崎町	0	0	0	0
大鰐町	91	8	49	34
田舎館村	55	5	13	37
板柳町	97	5	53	39
管内計	1,270	117	388	765

ウ その他の健康増進事業 (令和元年度地域保健・健康増進事業報告より)

(ア) 健康教育

(人)

市町村名	個別健康教育				集団健康教育	
	高血圧	糖尿病	高脂血症	喫煙		
	実施者数	実施者数	実施者数	実施者数	開催回数	延参加者数
弘前市	0	0	0	0	142	5,047
黒石市	0	0	0	0	124	879
平川市	0	0	0	0	211	2,275
西目屋村	0	0	0	0	14	252
藤崎町	0	0	0	0	11	46
大鰐町	0	0	0	0	32	245
田舎館村	0	0	0	0	39	1,131
板柳町	0	0	0	0	16	608
管内計	0	0	0	0	589	10,483

(イ) 健康相談

(人)

市町村名	重点健康相談		総合健康相談	
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数
弘前市	70	306	36	689
黒石市	3	13	26	312
平川市	0	0	40	884
西目屋村	0	0	24	24
藤崎町	37	375	4	221
大鰐町	17	221	50	50
田舎館村	0	0	26	473
板柳町	37	1,684	43	101
管内計	164	2,599	249	2,754

(ウ) 訪問指導

(人)

市町村名	被訪問指導実人員	被訪問指導延人員
弘前市	23	31
黒石市	7	7
平川市	296	328
西目屋村	116	136
藤崎町	66	74
大鰐町	8	10
田舎館村	275	323
板柳町	164	168
管内計	955	1,077

## 4 歯科保健事業

### (1) 8020運動推進特別事業

乳幼児期からの口腔保健の重要性や生活習慣病との関係性について、保健指導にあたる市町村や児童福祉施設の栄養士・管理栄養士の関心を高める。また、地域住民の歯科保健における関心を高め、歯周病の予防と適切な歯科受診につなげる。

例年実施している健康講座及びリーフレット作成と配布は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった。

### (2) 親と子のよい歯のコンクール

子や保護者及び地域社会の歯科保健への関心を高めるため、健康な歯を持つ親と子を表彰し、地域の親子歯科保健の推進を図る。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止)

## 5 栄養改善指導事業

### (1) 給食施設栄養管理指導事業

特定給食施設等に対し、喫食者に適切な栄養管理が実施されるよう施設を巡回して必要な指導及び助言を行う。また、給食従事者に対し研修会を開催する。

#### ア 巡回指導

2年度	指定給食施設		特定給食施設		特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設 (特定給食施設を除く)		総計
	有	無	有	無	有	無	
巡回指導対象施設数	3	0	65	7	114	37	226
巡回指導延施設数	0		11	0	3	2	16
指導率(%)	0		16.9	0	2.6	5.4	7.1
施設来所延指導数	0		0	0	0	0	0
電話による相談数	0		0	0	4	0	4

#### イ 研修会

新型コロナウイルスのクラスター発生等により開催を中止した。

### (2) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村健康増進計画等の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する管理栄養士等による連絡調整や情報交換、研修を行う。

ア 連絡調整会議

開催日時	令和2年8月17日（月）13:30～15:00
対象者	管内市町村行政栄養士
参加者数	14人
参加者内訳	市町村行政栄養士8市町村11人、保健所職員3人
内 容	<p>&lt; 会議及び情報交換 &gt;</p> <p>①令和2年度の新規事業・重点事業、栄養改善業務の進捗状況等について</p> <p>②情報交換</p> <p>③今年度の行政栄養士研修会の内容について</p>

イ 研修会

第1回	
開催日時	令和2年8月17日（月）15:00～16:30
対象者	市町村健康づくり業務担当者
参加者数	14人
参加者内訳	市町村行政栄養士8市町村11人、保健所職員3人
内 容	<p>テーマ「災害時の栄養・食生活支援活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修伝達</li> <li>・管内市町村の平常時の取組状況について</li> </ul>

第2回	
開催日時	令和3年1月25日（月）13:30～16:30
対象者	市町村健康づくり業務担当者
参加者数	13人
参加者内訳	市町村行政栄養士6市町村9人、保健所職員4人
内 容	<p>&lt; 演習 &gt;</p> <p>「ケースメソッドを応用した災害時の栄養・食生活支援活動に関する演習」</p> <p>&lt; 情報交換 &gt;</p> <p>「コロナ禍におかる母子・成人保健事業の実施状況について」</p>

ウ その他市町村事業に対する支援

市町村名	具体的な内容
全市町村	「大規模災害時の栄養・食生活支援活動マニュアル(市町村版) (例)」の作成 市町村における災害時の栄養・食生活支援活動体制の整備を推進するための一環として作成し、管内市町村（健康づくり担当課）へ配布。
黒石市	黒石市食生活改善推進員養成講座講師（1回） 講師：生活衛生課 桜庭課長 参加者 4人

(3) 食生活改善推進員の育成

ア 弘前保健所管内食生活改善推進員連絡協議会

管内市町村食生活改善推進員の活動について、連絡調整や情報交換、研修を行い、地域における食生活改善活動の効果的な実施を推進する。

イ 管内市町村食生活改善推進員会会員数

市町村名	会員数（人）	
	令和2年6月1日現在	令和元年6月1日現在
弘前市	156	169
黒石市	144	149
平川市	124	135
西目屋村	11	12
藤崎町	30	37
大鰐町	54	58
田舎館村	27	35
板柳町	30	31
合計	576	626

ウ 管内市町村食生活改善推進員養成講座実施状況

弘前市、黒石市

(4) 青森のおいしい健康応援店認定事業

平成12年から実施してきた外食栄養成分表示店定着促進事業を廃止し、平成27年2月から県内（青森市除く）で新規事業として実施している。本事業は、「肥満予防」、「食塩摂取量の減少」、「野菜摂取量の増加」に配慮した食事メニューの提供を行う飲食店、惣菜店から申請があった場合に「青森のおいしい健康応援店」として認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を推進する。

認定店舗数 23件

(5) 健康増進法及び食品表示法に基づく表示の指導及び相談

栄養成分表示や特別用途表示、誇大表示の禁止等、健康増進法及び食品表示法に基づき、事業者による食品または広告等の表示に対し相談・指導を行う。

指導及び相談件数 延べ 140件

6 精神保健福祉関係

(1) 通報状況

(人)

区 分	申請 通報	調査により診察 の必要がないと 認めた者		診 察 を 受 け た 者		
		入院	その他	精 神 障 害 者		精神障害者で なかった者
				法第29条該当 症状の者	法第29条該当 症状でなかった 者	
一般の申請	0	0	0	0	0	0
警察官の通報	37	0	8	26	3	0
検察官の通報	9	0	6	1	2	0
保護観察所長の通報	0	0	0	0	0	0
矯正施設の長の通報	6	0	6	0	0	0
病院の管理者の届出	0	0	0	0	0	0
医療観察法の対象者	0	0	0	0	0	0
合計(令和2年度)	52	0	20	27	5	0

(2) 医療状況

ア 入院・通院状況

(人)

市町村別	入 院		通 院	計
	措 置	医療保護		
弘 前 市	18	1,119	3,232	4,369
黒 石 市	2	313	533	848
平 川 市	2	205	515	722
西目屋村	0	12	19	31
藤 崎 町	2	97	224	323
大 鱈 町	1	81	131	213
田舎館村	0	52	96	148
板 柳 町	0	74	215	289
管 外	2	-	-	2
合計(令和2年度)	27	1,953	4,965	6,945

## イ 通院医療状況

疾病別患者数では、統合失調症（F2）が全体の32.5%、気分障害（F3）が27.2%で、この2つで全体の6割を占めている。(人)

市町村別	F0 病状性を 含む器質 性精神障 害	F1 精神作用 物質使用 による精 神及び行 動の障害	F2 統合失調 症、統合失 調性障 害及び妄 想性障害	F3 気分障害	F4 神経症性 障害、スト レス関連 障害及び 身体表現 障害	F5 生理的障 害及び身 体的要因 に関連し た行動症 候群	F6 成人の人 格及び行 動の障害	F7 精神遅滞	F8 心理的発 達の障害	F9 小児期及 び青年期 に通常発 症する行 動の障害 等	G40 てんかん	その他 分類不明	合 計
弘 前 市	135	98	1,049	933	201	10	39	61	225	85	279	117	3,232
黒 石 市	42	11	166	133	47	1	3	13	31	18	44	24	533
平 川 市	36	10	166	126	33	2	2	15	35	14	46	30	515
西目屋村	3	1	7	1	3	0	0	1	1	0	1	1	19
藤 崎 町	24	6	68	58	15	0	2	3	16	4	19	9	224
大 鱈 町	11	4	49	32	5	1	1	9	3	1	9	6	131
田舎館村	5	2	31	23	5	3	0	2	11	1	8	5	96
板 柳 町	18	4	80	47	11	0	2	4	10	2	19	18	215
合 計	274	136	1,616	1,353	320	17	49	108	332	125	425	210	4,965

令和3年3月31日現在

### (3) 精神障害者保健福祉手帳所持者数

所持者数の割合で見ると、1級25.9%、2級60.5%、3級13.6%となっている。(人)

市町村別	1 級	2 級	3 級	計
弘 前 市	533	1,330	289	2,152
黒 石 市	81	204	53	338
平 川 市	100	195	50	345
西目屋村	5	6	1	12
藤 崎 町	46	87	20	153
大 鱈 町	24	53	10	87
田舎館村	21	36	7	64
板 柳 町	36	63	15	114
合 計	846	1,974	445	3,265

令和3年3月31日現在

### (4) 精神保健福祉相談（定期・随時・電話・訪問）

相談内容は、受診及び入院に関する相談が多かった。

#### ア 相談開設日及び従事者

	定 期 相 談 【予約制】	定期外相談・電話相談
開 設 日	偶数月 第2木曜日、第3木曜日 奇数月 第3 金曜日 ※受付 13:00～14:00	随 時
従 事 者	嘱託医 ・弘前愛成会病院 院長 田崎 博一 ・藤代健生病院 副院長 千石 利広 ・聖康会病院 院長 齋藤 文男 保健師	保 健 師

## イ 相談内容

(人)

令和2年度	相談件数	主な相談内容															令和元年度
		受診・入院について	通院・服薬指導について	生活指導について	経済的問題について	性格・行動上について	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	自殺関連	その他	
合計	917	161	33	107	6	52	8	3	1	74	9	45	10	19	16	373	747
定期	20 (12)	13	1	1	0	5	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	38 (28)
随時	56 (30)	16	2	2	1	4	1	0	1	1	3	1	0	0	3	21	69 (50)
電話	695	112	28	87	5	46	6	3	0	73	4	21	10	13	10	277	640
訪問	146	20	3	17	0	0	0	0	0	0	2	23	0	4	3	74	116

\* ( ) 内の数値は実数

## ウ 定期・随時相談の相談者内訳 (延数)

令和2年度 相談件数	本人	家族等				
		配偶者	父・母	同胞	子	その他
76	17	3	38	14	1	18

## エ 定期・随時相談の相談経路 (件数)

令和2年度 相談件数	自発来所	関係機関の紹介				その他
		市町村	医療機関	警察署	その他	
76	34	1	3	6	20	11

## (5) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

精神障害者本人及び家族が、住み慣れた地域で自分らしい生活を実現できる地域を目指し、保健・医療・福祉等の支援関係者が連携し、長期入院者の地域移行を進めるための支援体制を構築する。

ア 精神障がい者の地域移行支援検討チーム会議（3回）

開催年月日	令和2年7月21日（火）、9月15日（火）、令和3年2月9日（火） ※令和2年11月17日は新型コロナウイルス感染症対応のため中止とした。
場 所	青森県産業技術センター弘前工業研究所
出 席 者	精神科病院5カ所、一般相談支援事業所12カ所、管内8市町村障害福祉所管課等、弘前保健所
内 容	管内の精神障がい者の地域移行支援の推進に向けた取り組みについての協議、等

イ 精神障がい患者の地域移行に関する研修会（地域生活支援広域調整会議）

※下記のとおり開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対応のため中止とした。

開催年月日	出席者	内 容
令和2年 11月6日 (金)	管内精神科病院、 相談支援事業所、 市町村（障害・保健・介護・生活福祉）、包括支援センター、他保健所等 約50人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報提供 「長期入院患者の現状と当圏域の取り組みについて」 弘前保健所 健康増進課</li> <li>2 講演「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築と地域移行支援の具体的展開 ～高齢精神障害者の地域移行支援から生活支援へ～」 講師 東京都サポートセンターきぬた 地域移行コーディネーター 金川洋輔</li> <li>3 ピアサポーターの語り 「ピアサポーターとして活動する私たちの語り ～心の病を持つ私たちから支援者へのメッセージ～」 語り手 弘前ピアサポーター「だんだん」の会</li> <li>4 ビデオ上映 「前略 退院しました ～精神障がいをもちながら自分らしい生活を取り戻した私たち～」</li> <li>5 意見交換・情報共有 助言者 東京都サポートセンターきぬた 地域移行コーディネーター 金川洋輔</li> </ol>

ウ 精神障がい者ピアサポーター活動

(ア) 精神障がい者ピアサポーター養成講座

開催年月日	出席者	内 容
令和2年 10月10日 (土)、11日 (日)	当事者9人 支援者10人 計19人	① 講義「ピアの基礎知識とリカバリーについて」他 ② グループワーク等 ファシリテーター 密着アドバイザー 川村和康 講師 地域生活支援センターびあす所長 三浦暢子 相談支援センターなごみ相談支援専門員 川村 志穂

(イ) 精神障がい者ピアサポーターミーティング

回数	出席者	内 容
奇数月第2 (金) 17:30～19:00 計7回 (11月、1月は中止)	ピアサポーター養成講座 受講者や支援者等 延21人	ピアサポーター活動についての話し合い 等

(6) 自殺対策事業

ア 包括的基盤強化事業「多分野合同研修会」

各地域の特性に応じた包括的な自殺対策の推進に向け、関係機関のネットワークを強化することで、社会全体の自殺リスクを低下させることを目的に実施している。

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

イ 自殺及び自殺未遂者調査

消防署の協力を得て、自殺及び自殺企図者の実態を把握し、自殺対策に役立てることを目的に実施している。

ウ 個別支援

- ・対応ケース：訪問2件（実数2人）、電話15件（実数12人）
- ・事例検討会：実施なし

エ 管内市町村自殺対策計画策定に対する支援等

管内市町村名	参加回数	会議名称
弘前市	1回	弘前市自殺対策連絡会議
黒石市	1回	黒石市健康づくり推進協議会
平川市	0回	
西目屋村	0回	
藤崎町	0回	
大鰐町	1回	大鰐町健康づくり推進協議会
田舎館村	0回	
板柳町	1回	板柳町健康づくり推進協議会

## (7) 連携組織に対する支援

精神障害者家族会等

家族会等組織が自立した活動を継続できるよう、地域家族会に対し、自主的な会運営の推進のために、随時相談等で対応した。

## (8) ケース処遇に関する会議

### ア 精神障害者地域ケア会議

精神障害者及びその家族に対し、その状態に応じた適切な支援をするために医療機関・福祉事務所等その他関係機関と処遇について検討や協議を行った。

- ・開催回数：21回（18ケース）

### イ 心神喪失者等医療観察法に係るケア会議

心神喪失者等医療観察法に基づく処遇、退院後の処遇等について、医療機関、青森保護観察所、市町村等の関係機関と協議、検討を行う。

- ・開催回数：1回（1ケース）

## (9) 精神科病院に対する実地指導について

新型コロナウイルス感染防止の観点から実地審査については実施せず、障害福祉課において5医療機関に対して書面（自己点検票等）による調査・指導が行われた。

## (10) 津軽地域精神科救急医療システム稼働状況

救急当番病院は当地域には4病院あり、休日・夜間の精神科救急に対応している。受診にあたってはかかりつけ医療機関を優先として実施している。精神疾患のため緊急に医療を必要としている精神障害者が受療しているが、診察の結果10.3%が入院医療を必要としている。

病 院 名	令和2年度	内 訳			令和元年度
		電話のみ	来 院	入 院	
弘前愛成会病院	417	344	37	36	434
藤代健生病院	62	0	47	15	132
聖康会病院	0	0	0	0	7
黒石あけぼの病院	16	12	4	0	15
合 計	495	356	88	51	588

## (11) 津軽地域精神科救急医療システム連絡調整委員会

津軽地域の救急医療システムの円滑な運営を図るために、医師会、医療機関、警察署、消防本部

をメンバーとする連絡調整委員会を開催している。

令和3年2月、管内の医療機関において新型コロナウイルス感染のクラスター発生のため、会議開催を中止した。

開催予定年月日	構成委員	内 容
令和3年 2月22日(月)	医師会・医療機関 6人 警察署 3人 消防本部 1人	議題（予定） (1) 津軽地域精神科救急医療システム事業実績について (2) 精神科救急医療システムの運営に係わる現状と課題 について

## 7 難病関係

### (1) 指定難病の医療費助成制度

難病のうち、治療方法が確立していないなど治療が極めて困難で、症状も慢性に経過し、後遺症を残すことが少なくなく、そのうえ社会復帰が難しく医療費も高額なため、経済的な問題や介護等家庭的にも精神的にも負担の大きい疾病であり症例が少ないことから、全国的規模での研究が必要な疾病を特定疾患と定義し、そのうち56疾病を公費負担の対象としていた。

平成27年1月からは「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）が施行され、医療費助成の対象となる指定難病はこれまでの56疾病から110疾病へとなり、平成27年7月からは306疾病、平成29年4月からは330疾病、平成30年4月からは331疾病、令和元年7月からは333疾病となっている。

令和2年度弘前保健所指定難病受給者証交付件数

疾患名	弘前市	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	総計
JrA 腎症	14	1	1	1	1				17
IgG4関連疾患	4		1		1				7
オートアンチトリファン欠乏症	1			1					1
アイカルデア症候群	1								1
ウイルス病	1								1
エラス・ダンロス症候群	3	1							4
オスラー病	1	1							2
クッシング病	1					1			2
クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1								1
クロン病	67	13	8		6	6	5	3	108
サルコイドーシス	39	11	8		2	3			63
シェーグレン症候群	12	4	3			1		2	22
シャルコー・マリー・トゥース病	2								2
パーキンソン病	216	41	46	2	19	16	9	14	363
パージャー病	3	1							4
パッド・キアリ症候群	1								1
ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2								2
フローー四徴症	1						1		1
フグデー・ワイリ症候群	1								1
ブリオン病	1	1							2
ペーチェト病	41	9	5	1	2	4	6	2	70
マルファン症候群	1					2			3
ミトコンドリア病	1								1
もやもや病	9	1	2		1		1		14
アインゾーム病	1				1				2
リンパ管筋腫症	1		1						2
悪性関節リウマチ	10	1	1			2		2	16
遺伝性ジストニア	1	1							2
一次性ネフローゼ症候群	22	4	4		1	3	1	1	36
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	1							2
海位型ミオパチー	1		1						2
黄色靱帯硬化症	6		2		1	1			10
下垂体性ADH分泌異常症	4	1					1		6
下垂体性PRL分泌亢進症	4								4
下垂体性TSH分泌亢進症	1								1
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	11				1	1		3	16
下垂体前葉機能低下症	37	10	5		1	4	1	1	58
家族性地中海熱	2							1	3
完全大血管転位症	1								1
球脊髄性筋萎縮症	6	1	1				1		9
強直性脊髄炎	14	5				2	4		25
筋ジストロフィー	27	4	3			1	1		36
筋萎縮性側索硬化症	1								1
結節性硬化症	1	2							3
結節性多発動脈炎	12	2	1			1		1	18
顕微鏡的多発動脈炎	2	1							3
原発性抗リン脂質抗体症候群	2								2
原発性硬化性胆管炎	18	3	2	1		2		1	27
原発性胆汁性胆管炎(原発性胆汁性肝硬変)	1								1
原発性免疫不全症候群	118	17	16	2	8	6	2	11	180
後縦靱帯骨化症	3	1							4
後天性赤芽球病	1		1						2
好酸球性消化管疾患	9	1				1			11
好酸球性多発動脈炎/肉芽腫症	48	6	9	1	5	1	1	5	76
好酸球性副鼻腔炎	2	1				1			4
広範骨髄炎/脊髄炎	1								1
抗糸球体基底膜腎炎	7	3				1			11
高安動脈炎	15	6	6		1			2	30
混合性結合組織病	15	6	3	1	1	1			27
再生不良性貧血	2	1							3
再発性多発動脈炎	2								2
紫斑病	6					1			7
自己免疫性肝炎	1								1
自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	5								5
自己免疫性溶血性貧血	1								1
若年性特発性関節炎	1								1
若年免疫型両側性感音難聴	27	5	6		3	1		5	47
修正大血管転位症	1								1
重症筋無力症	1								1
除波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	3								3
色素性乾皮症	3	1	1			1		1	6
神経細胞移動異常症	10	2	2	1	1	1	1	1	18
進行性筋性萎縮症	11	3	1		1		2		18
進行性骨化性線維異形成症	53	11	3		4	1	4	5	81
成人スチル病	1								1
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	1								1
先天性副腎皮質酵素欠損症	5	1			1				7
前頭側頭葉変性症	111	21	19		4	4	3	6	168
全身性アミロイドーシス	42	8	11	1	2	2	2	5	73
全身性エリテマトーデス	15	3	1		1	2			22
多系統萎縮症	1	1							2
多発動脈炎/肉芽腫症	41	5	8		6	2	3	1	66
多発性硬化症/視神経脊髄炎	14	2			1	1	1		19
多発性囊胞腎	8	1							9
大脳皮質基底核変性症	1								1
大理石骨病	1								1
単心室症	175	31	29	2	11	4	9	18	279
潰瘍性大腸炎	5	2	2					1	10
天疱瘡	14	2	4		4	1	1	2	28
特発性拡張型心筋症	25	2	4		3	2		2	38
特発性間質性肺炎	1								1
特発性基底核石灰化症	28	2	5		1	1	1	2	40
特発性血小板減少性紫斑病	1		1		2				4
特発性多中心性キャッスルマン病	15	7	5		1			4	33
特発性大腿骨頭壊死症	1	1	1						3
脳表ヘモグロビン沈着症	3	1	1						5
膿疱性乾癬(汎発型)	2	1			1		2		6
肺動脈性肺高血圧症	1								1
肺動脈白症(自己免疫性又は先天性)	1		1						2
皮膚下硬癭と白質脱失を伴う常染色体優性脳動脈症	37	6	9		2	2	1	4	61
皮膚筋炎/多発性筋炎	4	1	1						6
肥大型心筋症	1								1
非特異性多発性小腸潰瘍症	1								1
表皮水疱症	1								1
封入体筋炎	1							1	2
副甲状腺機能低下症	1								1
副腎白質ジストロフィー	10	3							13
慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー	6	1	2			1			10
慢性血拴塞性肺高血圧症	23	3	2	1		1	1	2	33
網膜色素変性症	4	1							5
両大血管右塞起始症	1								1
類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1,547	295	252	15	105	92	67	113	2,486

## (2) 難病患者等相談事業

### ア 医療相談

難病患者やその家族が抱える医療及び日常生活上の相談に対し、専門医等による指導・助言等や、当事者同士の交流を通じたピアサポートにより、生活の質（QOL）の向上を図ると共に、在宅療養の推進を図りながら、関係者間での連携を強化し、安心・安全に療養できるためのネットワークの構築を図る。

○医療相談 新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止

### イ 訪問相談

医療相談に参加できない難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の相談に対し、相談員等による日常生活上の相談、指導、助言及び精神的支援を行い、生活の質（QOL）の向上を図ると共に、在宅療養の推進を図る。

#### (ア) 訪問相談

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
保健所保健師（件）	60	67	71	71	53	26
訪問相談員（件）	118	104	83	51	62	48
計	178	171	154	122	115	74

#### (イ) 打ち合わせ会

開催年月日	令和2年 4月23日（木）	令和3年 3月12日（金）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談員の証」交付</li> <li>・訪問相談計画</li> <li>・地区分担について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問相談実施状況</li> <li>・情報交換</li> <li>・R3年度計画について</li> </ul>

## (3) 新規特定医療受給者証交付時相談及び継続申請時相談

新規に難病と診断された患者やその家族が抱える医療及び日常生活に関する悩みに対し、特定医療受給者証の交付時を利用した相談・指導・助言及び精神的支援を行い、難病患者の在宅療養の推進を図る。

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
受給者証交付時相談（件）	80	88	100	86	80	36
継続申請時相談（件）	15	5	2	6	12	0 (更新なし)
電話相談（件）	20	13	4	6	3	76
計	115	106	106	98	95	109

※平成22年度から継続申請時の相談を行ってきたが、平成29年度は希望により相談に応じる体制とした。

#### (4) 難病在宅ケア推進ネットワーク会議

難病患者の在宅療養の特殊性を踏まえた包括的な支援体制の構築により、難病患者とその家族が安心して療養生活を継続できるように、支援関係者間の連携の促進を図る。

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止

#### (5) 患者会支援

同じ疾患をもつ患者やその家族が、治療や療養生活上の悩みを共有し、難病を抱えながら生活していくための仲間づくりや交流するための活動を支援する。

ア 新規特定疾病医療受給者証交付時相談や随時相談、及び難病訪問相談員や所内保健師訪問時の情報提供

イ 患者会活動について対象者への周知の協力。(パーキンソン病等)

#### (6) 青森県重症難病患者在宅療養支援事業

- ・対 象：人工呼吸器を装着し、在宅療養している方
- ・内 容：①一時入院、②看護人派遣
- ・登録者：2人（実際の利用には至らず）

### 8 石綿に係る健康相談等及び被害救済制度に関する申請状況

石綿による健康被害の特殊性にかんがみ、石綿による健康被害を受けた者及びその遺族に対し、医療費等を支給するための措置を講ずることにより、石綿による健康被害の迅速な救済を図る。

#### (1) 石綿健康被害救済制度に係る申請受付状況

令和2年度においては、認定申請1件

### 9 保健師業務連絡会議

管内市町村・事業所等に勤務する保健師を対象として、保健活動に関する情報交換及び学習会を開催し、業務の円滑化を図る。

開催年月日	参加者	内 容
令和2年8月3日(月)	市町村11人 県がん・生活習慣病対策課1人 保健所4人 計16人	1 情報交換 「令和2年度保健師活動の重点目標について」 2 講義 「災害に備えた保健師活動」 青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課 主幹 青木 範子 氏 3 意見交換 4 講義 「新型コロナウイルス感染症対策」 弘前保健所 所長 石山 明
中止		※第2回保健師業務連絡会議を2月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症クラスター発生のため中止とした

## 10 保健師の育成支援

### (1) 保健所保健師等育成支援事業（トレーナー保健師事業）

行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として、保健所の新採用保健師が行う保健活動について支援するものである。

ア 対象者：所内新採用保健師1人

イ トレーナー保健師1人（在宅保健師 今 和子）

ウ 事業日数：14.0日

エ 内 容

種別	日数	件数		内訳
		実件数	延件数	
家庭訪問	10.0	13	16	精神2件（延4件）、難病9件（延10件）、母子2件（延2件）
コーディネート （ケア会議等）	1.0	1	0	難病患者のケース連絡（病院訪問）
打合せ等評価会	3.0	/	/	事前打合せ会（6/13、13名）、中間評価会（中止）、最終評価会（3/15、6名）、活動打合せ（ケース検討、地域診断等）（12/15・1/18、各3名）
計	14.0	14	16	

### (2) 青森県新任等保健師育成支援事業

行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として、市町村の新任保健師が行う保健活動について支援するものである。

ア 対象者 3人（弘前市保健師2名、黒石市保健師1人）

イ トレーナー保健師 3人（弘前市2人、黒石市1人）

ウ 事業日数 弘前市28日、黒石市12日

エ 内 容

	打合せ	家庭訪問	その他
弘前市	事業打合せ1回 中間評価会1回 最終評価会1回	妊産婦、乳児、成人 （延べ50件）	健康教育
黒石市		成人（延べ3件）	健康相談、健康教育 健康診査、地域診断

オ 事業打合せ、評価会

	事業 打合せ	中間 評価会	最終 評価会	場所	出席者	内容
弘前市	R2.6.30	R2.10.26	R3.2.12 R3.3.8	弘前市保健センター	トレーナー保健師、新任保健師、市保健師、県国民健康保険団体連合会、県がん・生活習慣病対策課、保健所	事業内容の確認、進捗状況評価、結果評価と次年度の課題等について意見交換
黒石市		R2.10.26		黒石市庁舎		

### (3) 新任保健師研修（弘前保健所主催）

新任保健師が、保健師の専門能力を發揮し、地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を習得するとともに、人材育成の体制づくりを推進する。

#### ア 対象者 (人)

	弘前市	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	保健所	計
初任期	5	3	2	0	2	1	0	2	2	17
新任期	3	1	0	0	1	1	0	2	1	9
計	8	4	2	0	3	2	0	4	3	26

#### イ 内容 1回開催 (人)

開催年月日 会場	プログラム	初 任 期	新 任 期	指 導 保 健 師	計
令和2年 8月28日(金) 弘前保健福祉 庁舎4階中会 議室	(1) 講義 ①公衆衛生の動向と保健師に求められる役割 講師 弘前保健所 所長 石山 明 ②新任期に身につけてほしい保健師としての能力 ～青森県保健師活動指針から～ 講師 弘前保健所 健康増進課長 山口 久美子 (2) 情報交換「採用から5か月を振り返って」 (3) 講義「生活困窮者の支援について」 講師 青森県社会福祉協議会 社会貢献活動推進室 室長 葛西 裕美氏 (4) 講義「児童相談所の機能と役割」 講師 弘前児童相談所 主査 田中 哲司 (5) まとめ	9			9
中止 (2回目)	※新型コロナウイルス感染症対応のため中止 ・新採用保健師7名から提出のあった事例については、課内で支援方法を検討の上、フィードバックを行い、今後の支援に役立ててもらったこととした。				
中止 (3回目)	※新型コロナウイルス感染症対応のため中止				

## 1 1 保健協力員の育成支援事業

市町村等が所管し育成している保健協力員等組織を対象に、活動に関する情報交換と地域の健康問題についての学習、意見交換等を行い、管内の保健協力員等の活動の活性化及び健康水準の向上に寄与することを目的に支援した。

### (1) 実施状況

#### ア 研修会

(ア) 日 時：令和2年8月21日（金）10：00～12：00

(イ) 場 所：青森県武道館

(ウ) 参加者：計46人（保健協力員29人、市町村担当者8人、事務局等9人）

(エ) 内 容

《講演・寸劇》

テーマ 「認知症についてもっと知ろう」

～早期発見（診断）から治療、そして周りができること～

講 師 弘前愛成会病院 院長 田崎 博一 氏

寸 劇 認知症疾患医療センター（弘前愛成会病院）スタッフ

《まとめ》 弘前保健所長 石山 明

#### イ 役員会

開催年月日	内 容	出 席 者
令和2年 7月3日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業及び決算報告について</li> <li>・令和2年度事業計画及び予算（案）について</li> <li>・研修計画、活動報告、その他</li> </ul>	保健協力員 7人 市町村担当者 7人 事務局 3人 計17人
令和3年 2月2日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業及び決算報告について</li> <li>・令和3年度事業計画、研修計画について</li> <li>・その他 役員改選、会議報告、情報交換（コロナ禍の活動状況）</li> </ul>	保健協力員 7人 市町村担当者 8人 事務局等 3人 計18人

### (2) 管内市町村保健協力員等の設置状況

（令和2年4月現在）

市町村名	名称	人数			任期／組織名	担当部局
		(人)	男	女		
弘前市	健康づくりセンター	290	39	251	2年／健康づくりセンター連絡協議会	健康増進推進課
黒石市	保健協力員	227	7	220	2年／保健協力員会	健康推進課
平川市	保健協力員	197	7	190	2年／保健協力員会	子育て健康課
西目屋村	保健協力員	21	0	21	2年／保健協力員会	住民課
藤崎町	健康推進員	126	3	123	2年／健康推進員会	福祉課

市町村名	名称	人数			任期／組織名	担当部局
		(人)	男	女		
大鰐町	保健協力員	60	0	60	2年／保健協力員会	保健福祉課
田舎館村	保健協力員	61	0	61	2年／保健協力員会	厚生課
板柳町	保健衛生協力委員	90	41	49	2年／（組織なし）	健康推進課
計		1,072	97	975		

（青森県保健協力員会等連絡協議会調べ）

## 1.2 医療技術者等の研修・実習

養成機関等の依頼により、看護学生等が、保健所の機能と役割を理解し、地域保健活動及び公衆衛生看護活動、または、公衆栄養活動の実際を学ぶことを目的として実施している。

大学名	研修期間	日数 (日)	人数 (人)
弘前学院大学看護学部 看護学科	令和2年6月2日(火)、6月5日(金)	2	9
弘前大学医学部 保健学科看護学専攻	令和2年6月22日(月)～6月25日(木)	※	4
東北女子大学家政学部健康 栄養学科	令和2年7月28日(火)	1	40
計 3校3学部		延3	延53

※弘前大学はメールによる質疑応答のみ

## 1.3 医療介護連携調整実証事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、市町村の在宅医療・介護連携推進事業の取組の支援として、当管内における入退院ルールを平成27年度より策定し運用している。同ルールの安定した運用体制を維持・促進するため、関係機関へモニタリング調査を実施し、運用状況の把握、地域課題の整理を行い、ルールの修正及び周知を行っている。

### (1) 実施状況

#### ア 医療介護連携調整実証事業市町村担当者等会議

(ア) 日 時：令和2年8月27日(木) 13:30～15:00

(イ) 場 所：弘前パークホテル 4階 フィオーレ

(ウ) 出席者：市町村在宅医療・介護連携推進事業担当課、弘前地区在宅医療・介護連携支援センターそよかぜ、弘前愛成会病院、保健所 計22名

(エ) 内 容：①情報提供

1) 認知症情報連携ツールの活用状況について

情報提供者 認知症疾患医療センター 北畠涼一氏、石田理世氏

2) 弘前市安心カードの活用状況について

情報提供者 弘前市介護福祉課 総括主幹 工藤里美氏

②意見交換

- 1) モニタリング調査について
- 2) 新型コロナウイルスの影響について

③その他

イ 病院・ケアマネ協議

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対応のため開催しなかった。

- ・ 今後は、入退院調整ルールの運用状況調査がない年度には基本的には開催しない方針。

（入退院調整ルールの運用状況調査は3年毎実施のため、次回開催は令和5年度予定。）

- ・ 関係機関へは書面にて津軽圏域入退院調整ルール修正案への意見を伺い、医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、市町村等へ改訂版を周知した。